

障がい児・者のことばの療育基金設立

あなたの活動を応援します！

第1回 ことば療育活動 応募者・団体募集

● 募集部門：

ことばの療育部門

ことばの教材部門



● 詳細は

日本ことば療法学会

検索

基金名：障がい児・者のことばの療育基金

この基金は障がい児・者のことばの療育、教育を支援するための基金であり、ことばを促す療育の研究・開発、人材育成の支援に役立てることを目的とする。

INDEX

● 第1回 ことば療育活動 応募者・団体募集	1 ページ
● 堀田喜久男賞設立／堀田喜久男賞・受賞の声	2 ページ
● 20年代の始まりに／委員長 高橋亮太郎	3 ページ
● クオリティアップの日々を！／徳田和恵	4 ページ
● 母からのバトン／長鎌明美	5 ページ
● 会員向け(無料) オンラインレッスンセミナー	6 ページ
● <コラム18> 穴戸理恵 ● Facebook、Twitter 随時発信中!!	7 ページ
● 認定校・認定教室	8 ページ

堀田 喜久男 賞 設立



長年に渡り、障がい児の「ことば音楽療法」の研究と実践をされ、多くの障がい児にことばを促されたことを称え **堀田喜久男賞** を設立しました。

主旨：ことばの療育に貢献された方に対して賞状並びに金一封を授与する。

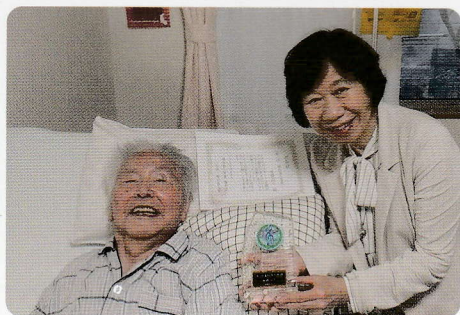
第1回 堀田喜久男賞 受賞者：後藤浩子

＜受賞の声＞ このたび、第1回堀田喜久男賞をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

11月23日に堀田先生から直接「後藤さん」とお声をかけていただきながら、賞状と素敵なお品をいただきました。その優しいお声と眼差しに、心から感謝するとともに、心引き締まる思いでした。

堀田先生と初めてお会いしたのは1989年夏、山梨の音楽療法セミナーの会場でした。当時小学校の先生でいらした堀田先生が、事例～小学校2年生のお子さんの“わらべ歌を使って発語を促す”～を発表されたのでした。先生の手書きのきれいな字の経過の資料とワープロで仕上がった資料、それは30ページにもわたるものでした。当時、山松質文先生の研究グループで音楽療法を実践していた私は、とても興味を惹かれました。また、当時勤務していた大学の児童相談研究所に通ってくる子どもさんに、ぴったりの療法だと思い、堀田先生とお話をさせていただいたのを覚えています。もう、その頃から、堀田先生の「ことば音楽療法」はほとんど仕上がっておられたと思います。その後、テレビの福祉の時間で、堀田先生の実際の場面が放映され、その録画を何回も見ているので、先生のことをずっと身近に感じておりました。再会は、2003年日本音楽療法学会第2回全国大会、会場の武庫川女子大学の陸橋の上でした。さらに、大阪での堀田先生のセミナーに参加して、「ことば音楽療法」について、理解を深めてきたという経緯です。堀田先生と高田さんにお声をかけていただき、現在の「日本ことば療法学会」の歩みに加えていただいたのでした。

私自身は、会員の皆様のように、ことば音楽療法の実践そのものをやっているのではないので恐縮ですが、私にできることは「ことば療法」のやり方にピッタリのお子さんに利用したり、心理療法の観点から、療法を受けているお子さんのことを考えていくことかと思っています。また、これまで以上にいろんな音楽療法の講座で話をする際に、「ことば療法」のことを紹介（宣伝）していこうと思っています。それと、大事なことは、お子さんやそのご家族の皆さんおひとりひとりが、療法を通じて、ご自分が大事にされているということを感じていかれること、可能性を信じてかかわるということだと思い、これからも実践を続けていこうと思っています。



この度の光栄な受賞に際しまして感謝しますと同時に、心新たに「日本ことば療法学会」の皆様と歩みをともにしていきたいと思っています。

感謝をこめて

後藤 浩子

堀田喜久男（会長）は現在、名古屋市内の施設に入所されてみえます。

賞の贈呈にあたり、後藤先生との再会を喜んでみえました（令和2年11月23日）。

第2回目の堀田喜久男賞は令和3年6月末に開催予定の第8回日本ことば療法学会（大阪）の際に発表と授与式を行います。

20年代の始まりに

委員長 高橋 亮太郎

今年もあっという間に終わろうとしています。いうまでもなく、多くの人の生活と人生を少なからず狂わせた新型コロナに振り回されました1年でした。いまの段階で今年を振り返ってみると、1にコロナ、2に選挙（トランプ騒動）、3・4がなくて5に鬼滅（の刃）というのが私の実感です。オリンピックも流れてしまいましたが、今年はいはべートーベン生誕250年。三島由紀夫の自決から50年。ジョン・レノンも没後40年。これらだけでなく、コロナがなければさまざまな行事が行われたことでしょう。残念でした。

年明けから武漢発の新型コロナで死者が続出し、あっという間に世界を席卷してロックダウンに追い込まれ、世界中がステイホームで息をひそめて数ヶ月という悪夢のような上半期。給付金10万円支給は助かりましたが、あれが貯蓄へ回ったからムダになったと言っているマヌケな大臣がいるそうで、本当に困ったものです。下半期になってようやく街が賑わってきたのも束の間、いままた年末へかけての第3波で皆さんのエリアも複雑な状況かと存じます。

春先のコロナ禍、家にいる時間が増えたので朝の起床時に心地よく聴ける曲でリコーダーやフルートなどフエ系統の音楽がないかな、とタワーレコードの店員さんにおススメを聞いてみたところ紹介されたのが「イル・ジャルディーノ・アルニモコ」のCDで、いなあと思った曲がアルビニョーニのオーボエ協奏曲9番のアダージョでした。余談。

そして私たちの記憶には米大統領選挙。私たちの憧れと尊敬を集めてきたあのアメリカが揺れています。長きに渡って世界に君臨してきた同国ですが、選挙から1ヶ月以上過ぎてもまだゴタゴタが終わりません。私の子供の頃にも遊びの中で自分に不利な結果、要は負けるたびに「あいつ、ズルした！」とかいって自分の負けを認めないヤツがいました。でも子ども社会というのは親が思う以上に自浄作用があって、やがてそいつを締め出しました。すると彼も状況から学んで、そういう言動はやめました。小学校3年生の頃です。

ということはトランプの精神年齢は9才なのか？と。現在のアメリカの混乱は、そういう人物に最高権力を委ねたところから始まっています。そのツケは、コロナ無策で失われた国民30万人の生命だけでは済まず、まだ払い続けることでしょう。子ども社会と違い、来年は後期高齢者の彼を教育できるのはもはや共和党と家族だけ。責任は重大です。

以前の共和党は理念と矜持を感じさせてくれたのですが、最近はそのも失くしたかのようでグレートアゲインどころかその劣化にめまいがします。大先輩にはあのリンカーンだっています。敗北宣言というのは支持者にとっても重要なケジメで、自分の支持した人物は敗けてもさすがに立派なものだな、という不思議な感動を毎回与えてくれたものでした。しかし今回あの粗大ゴミ（不要だけどナリはデカイ）と同調する党幹部が報道され、上層部までもここまで墮ちたか！と正直びっくりしています。松下幸之助の有名な言葉に「国の政治と民衆のレベルは比例する」という言葉がありますが、一部のためだけの政策ばかりで「4割大統領」とさえ呼ばれ、最初から「ユナイテッド」ステーツ棟梁のウツワではなかったのですね。USAをDSA（Divided）にしてしまったのは彼の負の功績ですが、次の政権には真のUSAへ向けて頑張っしてほしいです。

先の緊急事態宣言時には私たちのセッションも少なからず打撃を受けました。延期あるいはキャンセルとなって残念な思いをされたこともあったでしょう。あれを再びというのは避けたいところですが、皆様のご尽力で今はリモートセッションという代替策もあります。どのようなセッションも形は残りませんが、「ことばのお教室」の一場面として児童の記憶に残ります。それが彼らのことばの成長を導き、これからその人物像を形づくっていく大事な手立てとなっていくことと思います。その子・その時・その環境での最善の準備とセッションで、来年も楽しく発達を支援していきましょう。新たな10年のスタートです。



クオリティアップの日々を!

福岡国際医療福祉大学
言語聴覚専攻科非常勤講師
徳田和恵

予測不能の事態が続きます。皆様、withコロナに適応すべく新しい生活様式を着実に築かれつつあると存じます。

順風・逆風渦巻く中、ことば音楽療法士として、対象者の「ことば」に取り組まれている皆様に敬意を表します。

「ことば」に立ち向かうときには、「ことば」を操る自分と対象者という「人」の行動を切り離すことはできません。・・・なので、「行動」の話です。歌を歌うことも、楽器を愛でることも、話しことばを話すことも、書きことばを書くことも、読み文字を読むことも、みんな「行動」の一つです。

心理学的な考え方に、専門家（エキスパート）、熟達化というものがあります。ある領域における膨大な知識と高度の技能の、いわゆる「匠の世界」です。対象とそれを取り囲む状況／文脈を一瞬にして分析的・統合的に捉え、非常にハイレベルで洗練され構造化された知識と技能を駆使する力（を持つ人々）です。

私は、支援・指導において技術と感性を磨いていくための礎の一つは、観察と分析にあると考えます。日々の業務に追われる中でも、観察と分析、これに基づく仮説構成と考え方や手続きの修正、このルーティンを忘れてはならないと考えます。

観察と分析は、行動に絡みついている環境・条件・感情等から、行動を、切り取って把握することから始まります。視点が自分の興味・関心を引く事象のみに向いていないか、原因結果をぐるぐる回っているだけで解決志向が置き去りにになっていないか、結構偏りがあるのに客観的であると誤認していないか、時折振り返りましょう。折角の情報過多時代、これを逆手にとって、時には、情報のつまみ食いをするとなんか「おいしい」かもしれません。近年では、ペアレントトレーニング・プログラムでより良き支援に向けて「行動」を捉える方法や、高齢者の生活の中の行動調査、心理・行動症状の理解からのサポート・ケア視点も周知されてきています。

日々の煩雑な流れの中で、次回と将来のセッションへと続く観察・分析ができるようになれば、ことば音楽療法士力はアップします よ!



母からのバトン

長鎌音楽教室

主宰 長鎌明美

(愛知県常滑市)

7年前、脳梗塞からの失語症（構音障害）で苦しんでいた母の車イスを押しながら「ふるさと」を口ずさんでいると、一緒に歌っていた母！不思議な気持ちの私に飛び込んできた「歌えれば話せる！」新聞に掲載された「ことば音楽療法」のセミナーでした。

思い切って申し込み、その後、堀田先生のご自宅で受講し、資格を得ました。当時何の知識もない私に丁寧に根気よくご指導いただき、本当に貴重な時間でした。「決断するときには覚悟を持って下さいね」先生から優しい笑顔でいただいたお言葉がいつも響いています。

現在10名の子供さん（個人）達と共に「楽しかった～またやってみたい！」をモットーに進めています。

コロナ渦の中オンラインでも教材はどれも楽しく新しいセッションの方法も実感しました。自然に出来ることが増え、小さな成功体験を積み重ねながら学習効果も期待できています。みんなオノマトペカードが大好きで、歌ったり打楽器でリズムを取りながら表現したり、トランポリンを跳びながら70枚にチャレンジしたり、穴あきカードを作ったり・暗唱したり・・・どんどん広がる不思議な教材です。

きっかけを作ってくれた母の最初のことばは「みかん～ラソソ～」でした。「ラソソ」のおかげで、つらい生活の中にも少しずつ、話せる喜びを取り戻していました。私をいつも応援し、時折「堀田先生ありがとう」と明るく笑顔で感謝をしていました。

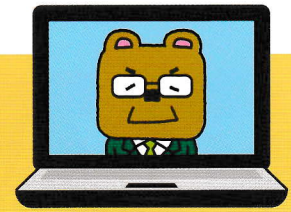
そんな母も今年3月に他界しました。同じ時期、バトンを受け取るかのごとく主人が全失語症になりました。最初はどうアプローチをしていいのか苦悩の毎日でした。

「聞く」「話す」「読む」「書く」全ての能力に障害がみられ、そこを理解することに私も時間がかかりました。先ず母音の口形模倣から始め、今では「おはよう～ソララ～」がきれいに言えるまでになりました。しかし自分の発している言葉がうまく聞き取れないことから自信に繋がらず、動画を撮って確認したり、鏡を見たり、本当に泣き笑いセッションです。STの先生から薦められた「会話ノート」（エスコアール社）も使い、少しずつコミュニケーションが取れるよう練習を重ねています。

「歌にのってことばが出せたよ」を始め、「ことば音楽療法」の本を何度も読み返し基礎を忘れず、これからも子供さん達との関わりはもちろん、失語症の方々へも寄り添えるよう、「覚悟とバトン」を持って、主人と共に走り続けていきたいです。

会員向け (無料)

オンラインレッスンセミナー



コロナ禍で増えてきた「オンライン」「リモート」などのコトバ。レッスンの在り方も様々になってきています。オンラインでことば音楽療法のセッションを行うための方法をお伝えします。

◆ 対象者 ◆ ことば音楽療法士、ことば療法士

- ・オンラインレッスンを検討している
- ・オンラインレッスンの要望があったけどパソコンが使いこなせないから導入をためらっている
- ・対面レッスンとオンラインを両立させてレッスンを行いたい

◆ 開催日 ◆

日付 ■ 令和3年2月21日 (日曜日) 定員 ■ 前後半 各20名
時間 ■ 前半：10:00～ 後半：13:00～ 各1時間
参加料 ■ 会員 (無料) 会員外：2,000円

前半：Zoomの操作方法～まずはZoomの機能を使ってみよう
対面式レッスンとの違い～メリット/デメリットは？～
後半：Zoomを使ってのことば音楽療法をやってみよう！

◆ 必要なもの ◆ 内蔵カメラのあるパソコン、タブレット

- Zoomのアプリをダウンロードしておいてください

*ご質問のある方は 水尻真美香に連絡して下さい。

メール：mamika626@gmail.com 電話：090-5136-2320

◆ 申込み ◆ 一般社団法人 発達支援協会

メール並びに電話 ■ takadaaroma@gmail.com ■ 052 (505) 5255

- 申込の際は (前半 / 後半 / 前後半とも) 必ず記載して下さい。

申し込み後、ZOOMへの招待メール (2月中旬頃) を送付します。

Facebook、Twitter 随時発信中!!



Facebook



Twitter

会報誌やHPに載っていない事も沢山更新中♪

Facebookページの「いいね!」の数が多いほど、
沢山の方に見ていただく事ができるようです!
ぜひご協力をお願い致します!

コロナ禍でますます
SNS経由でのレッスンのご依頼が増えています!



コラム⑱

穴戸理恵

最近、ピアノの生徒にメンデルスゾーンのスコットランドソナタ（幻想曲）をレッスンしている。この曲は冒頭から持続低音（保続音・オルゲルプンクト）が鳴り響く。

オルゲルプンクトは例としてソナタ形式の再現部に移る時にエネルギーをためながら準備し効果的に再現部につなげていくもの、または上に挙げた曲やヴィヴァルディの「春」の第3楽章に聴こえる長い音などがある。

堀田先生はよくベートヴェン「運命」の第3楽章から第4楽章にうつる部分（ティンパニのでてくるあたりから）の話をされる。

ことばの音楽療法のラミラミの伴奏は保続音伴奏である。（二重持続低音）その効果や役割、弾き方を踏まえたうえでのことばの音楽療法である。

堀田先生が持続音伴奏についてどのように述べているのかというと、

「陽旋法の旋律の伴奏は、ラを低音とし、その上のミ音とを交互に弾くなどの保続音（同じ音を保持する）伴奏が効果的である。」

「ラとミの交互の保続音伴奏はリズムをきざむ程度で旋律を浮き立たせるようにするのがよい。弱くスタッカート気味に弾くと効果的である。」

「保続音伴奏は単純で適している。」

「陽旋法の音階の初めの音のラや中間の音のミを低音で保持して旋律を支え、調性を維持し、曲全体に厚みを持たせ、迫力をも加えたりする機能的要素も認められる。」等がある。

旋律を支える保続音伴奏は、エネルギーを持続させ、全体を惹きつけながら先へと進んでいく。連続する音は添え木やサポーターの役割である。

私たちは前に向かう気持ちのエネルギーを持ち、寄り添うようなラミラミを弾きながらうたい、子どもたちのためにことばの音楽療法を持続（保続）していく。

また、記事に「いいね!」や「リツイート」をしていただいた方がご自身のページや事業所で発信している「ことば音楽療法」に関する記事のシェアをさせていただき教室や事業所の宣伝のお手伝いをさせていただきます!

一般社団法人 発達支援協会



どちらも「一般社団法人 発達支援協会」と検索してください!

2020年11月現在
Facebookページいいね数: 170件!
Twitterフォロワー数: 676件!

Facebookページはアカウントをお持ちでない方も見ることができます!

認定校

■名古屋市

【発語音楽研究所】

療育責任者：堀田喜久男

■大阪府東大阪市

【深谷音楽教室】

主宰者：深谷靖子

発語音楽療法

検索

認定教室

ことば音楽療法の認定校・教室です。各教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。

TEL & FAX：052（505）5255<事務局>

各教室へのご連絡はホームページ『ことば音楽療法』をご覧ください。

◆関東地区◆

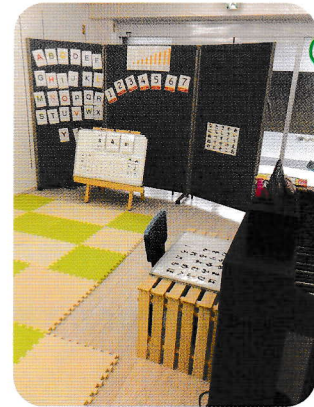
- ⑨ 東京都江戸川区【ことば音楽療法 あ・い・う・え・お】 主宰者：嬉 利恵
- ⑰ 千葉県習志野市【千葉ことば音楽教室】 主宰者：小林紳一
- ⑳ 埼玉県蕨市【mana ことば&音楽教室】 主宰：広井真奈

◆東海地区◆

- ② 愛知県【SiSiDo Music room】 主宰者：穴戸理恵
- ④ 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- ⑩ 愛知県碧南市【ひだまり教室】 主宰者：小笠原清恵
- ⑬ 愛知県常滑市【長鎌音楽教室】 主宰者：長鎌明美
- ⑯ 岐阜県大垣市【music room SORA】 主宰者：兒玉貴栄
- ㉕ 愛知県知立市【ことば音楽療法 はらっぱ】 主宰：原田悦子

◆関西地区◆

- ① 大阪府【さゆり音学院】 主宰者：土田靖子
- ③ 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 主宰者：松浦光子
- ⑦ 京都府舞鶴市【さがん発語音楽教室】 主宰者：目美香
- ⑧ 大阪府枚方市【安宅ことば音楽療法教室】 主宰者：安宅千世子
- ⑫ 兵庫県芦屋市【きじ猫 音楽工房】 主宰者：上野奈央
- ⑭ 大阪市都島区【音楽セラピーみゅーじっくらんど】 主宰者：末吉裕美
- ⑮ 大阪市平野区【一般社団法人みらいぴっころ】 管理者：森嶋裕子
- ⑱ 兵庫県西宮市【みずしり音楽教室】 主宰者：水尻真美香
- ⑲ 京都市北区【御園橋ことば音楽教室】 主宰者：中島真治
- ㉒ 奈良県奈良市【にこにこムジカ】 主宰者：大井裕子
- ㉑ 和歌山県和歌山市【古庵音楽教室】 主宰者：古庵優子
- ㉒ 大阪府八尾市【ことばの教室 Warauta(笑歌)】 主宰：馬場富美江
- ㉖ 大阪市住吉区【児童発達支援放課後ディサービス にーの】 主宰者：黒田千世
- ㉗ 大阪府池田市【えみふる音楽教室】 主宰者：寺川恵美



㉖ 児童発達支援
放課後ディサービス
にーの（大阪）

◆九州地区◆

- ⑤ 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- ⑥ 福岡県遠賀郡【りずむの木】 主宰者：石井純子
- ⑪ 福岡県行橋市長木【ことばの♪パッソ♪教室】 主宰者：松尾範子
- ㉓ 福岡県中間市【まこちゃんことばの音楽教室】 主宰：久保真

※数字は認定順

ことば音楽療法士 認定者 ▶230名（受講中も含め）令和2年12月現在

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX:052(505)5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索